

平成29年度 事業計画

〈国の動き〉

健康日本21（第2次）の中心課題である「健康寿命の延伸」は、昨年6月に閣議決定された「ニッポン一億総活躍プラン」において健康寿命を2025年までに2歳以上延伸させることを目標として掲げられるなど、国の大きな目標の一つとなっています。

平成29年度は、生活習慣病対策では「健康日本21（第二次）」の目標項目の中間報告が予定され、がん対策については昨年12月のがん対策基本法の改正を受けて、6月に「第3期がん対策推進基本計画」が策定される予定です。また、平成30年度から始まる「第三期特定健診・保健指導」に向けて「標準的な健診・保健指導プログラム」の改訂版が今春を目途に提示されるほか、労働安全衛生法に基づく定期健康診断についても特定健診との整合性やあり方の検討が行われており、がん対策、生活習慣病対策をはじめとしたさまざまな健康増進施策が目標達成に向けて総合的に推進されているところです。また、タバコ対策においては、2020年開催の東京オリンピック・パラリンピックに向けて、受動喫煙防止対策に省を挙げて取り組んでいます。

〈基本方針〉

当協会は、国や県の健康増進施策に対し、迅速に対応するとともに関係機関と連携して県民の健康づくりに積極的に取り組んでまいります。また、各種学校や地域・職域の健康診断及び保健指導を通して、生活習慣の改善や疾病を予防する機会を県民の皆様に提供するとともに、健康診断・保健指導から得られた情報を継続して調査分析し、研究結果を学校や地域・社会に情報発信します。また、CT検診など新たな健診や検査についても関係機関等の連携を図りながら、検診体制の整備を行ってまいります。

これらを通して生活習慣病やがんの予防、生活習慣の改善による健康づくりを一層推進し、県民の心とからだの健康の保持及び増進と健康な生活の実現に貢献します。

公益事業1：心とからだの健康保持及び増進事業

1. 健康増進の普及啓発事業

(1) 県民への普及啓発活動

健康診断は、時代や社会的背景・医療の進歩とともに大きく変遷しており、時代のニーズにあった、EBM(Evidence-based Medicine)に基づく、より効果的で予防に貢献できる健診が求められています。

県民への普及啓発活動は、こういった時代背景や地域特性を踏まえて、新しい情報を的確に提供する必要があることから、ホームページや新聞・TVなどを通して、①生活習慣病やがんの予防に関する情報、②健康診断の受け方や数値の見方・活用方法に関する情報、③生活習慣の改善方法に関する具体的な情報などを発信し、県民の健康意識の向上と心とからだの健康の保持及び増進を推進してまいります。特にホームページではリニューアルを行い、個人や団体向けに、健康診断の種類や項目の解説、申し込みから健診結果の見方、健康増進・保健指導の実際まで具体的にわかりやすい情報を提供し、県民の健康保持及び増進に役立てていただけるよう努めてまいります。

(2) 県・市町・企業・各種団体との連携・情報発信

がんに関する対策は、「第3期がん対策推進基本計画」が今年6月に策定されることから、香川県においても新たな「第3次香川県がん対策推進計画」により取り組むべき施策と計画が具体的に進められます。

当協会は、こうした動きに対し、生活習慣病やがんに関する啓発活動・調査研究事業に取り組む民間機関として、県・市町・企業・団体等と連携することで、より効果的な健康対策につなげてまいります。

(3) 生活習慣病やがんの予防に関する普及啓発活動

① タバコに関する普及啓発活動

2020年東京オリンピック開催に向けて、喫煙や受動喫煙防止対策は大きな課題となっています。当協会は、2018年に開催される「第12回日本禁煙学会学術総会（香川大会）」の学会事務局としてや関係機関と協働し準備を進めるとともに、世界禁煙デー（5月31日）のイベントや受動喫煙に関する出前講座、医療従事者向けの講演会を開催し、タバコのない環境作りを推進します。

② 子宮頸がんに関する普及啓発活動

上皮内がんを含めた子宮頸がんは20歳代の若年層で急速に増えています。子宮頸がんの主な原因としてヒトパピローマウイルス（HPV）が認知され、ワクチンやHPV検査も推進されてきましたが、ワクチンの副作用の問題等もありがん検診の重要性と受診率向上は以前にも増して重要視されています。若い世代への普及啓発は、子宮頸がん検診の受診行動を促すほか、女性が自らの健康に目を向け健康づくりに取り組むきっかけとなることから、香川県産婦人科医会との連携による啓発活動や高松市が実施する「お・と・な力アップ講座」への講師派遣や教材等を提供し啓発活動を推進してまいります。

③ 乳がんに関する普及啓発活動

毎年10月の乳がん月間を中心に、10年の活動経験を持つピンクリボンかがわ県協議会と協働し、県・市町・各種団体・企業・マスメディア等関係機関と連携を深めることで、乳がんに関する普及啓発をさらに効果的に展開してまいります。今年は、当協会が健康診断を受託する企業にも働きかけて普及啓発を確実なものにしてまいります。

④ がん予防・がん検診の受診率向上に関する普及啓発活動

香川県が進める第2次がん対策推進計画アクションプランでは、がん予防の推進やがんの早期発見の推進に向けた受診率向上の取り組みについて「がん患者団体」が自らの体験をもとに、がんの早期発見の大切さを訴える活動を行っています。当法人は、県内8つのがん患者会をまとめた「がん患者会ネットワーク香川」の事務局として、がん予防や受診率向上をはじめ、がん全般についての普及啓発活動を推進してまいります。

⑤ 職域を対象にした働く人への普及啓発活動

当協会が実施する各種健康診断・各種がん検診の受診者の約60%は職域の検診であることから、職域健診を実施する事業所を対象にポスター・リーフレット等の配布を行うほか、香川県産業保健師会等と連携・協働して講演会や講習会を開催し、働く人への健康対策を推進します。

⑥ HIV検査受診啓発週間（6/1～6/7・12/1）

HIV検査受診啓発週間（6/1～6/7・12/1）の県主催等のイベントに協力して、昨年
に引き続きチラシ等の配布による受診啓発活動を行います。

⑦ 健康づくりイベントへの協力

県や関係機関が実施する健康増進に関する取り組みに協力し、健康づくりや健康診断
に関する情報を楽しく学んでもらえるよう、ブース出展や啓発活動を行います。

⑧ 常設展示コーナーの活用（別館1階）

来場者に「野菜を一日350g以上食べましょう」をテーマに野菜摂取を促し、食事パ
ランスガイドによる食事内容の見直しを提案します。また、運動習慣を振り返るコーナ
ーを引き続き設置し健康増進を啓発します。

2. 調査・研究事業

(1) 健診情報の収集と活用

平成29年度は、延べ約16万件の健診情報を収集する計画です。取得したデータは
各部署で調査・分析を行い、研究発表に供するほか事業報告書等により関係機関に広く
情報提供を行ってまいります。

がんや生活習慣病の予防、メンタルヘルスについては、特に働く人々への対策が重要
視されていますが、職域健診の受診状況は未だに十分把握されていないのが実情です。
当協会が実施する職域健診は、延べ約10万7千件（健康診断 約3万9千人、各種
がん検診 延べ約6万8千件）に上ることから、健診対象者の把握や受診者情報の把握、
健診結果等の貴重な情報を収集し、実態の把握や受診率向上対策などに役立ててまい
ります。

これらの情報収集に当たっては、健診検査の最新機導入や巡回健診及び施設健診にお
ける受診者サービスと接遇の向上により受診しやすい環境づくりに努め、継続的で良質
な情報収集を行います。また、当協会の健診情報は、健康管理システムにより管理され
集計や分析を行っています。このデータ管理システムを用いて、さらに一層IT化の活
用を積極的に進め、協会事業の顧客データ管理や情報提供サービスの充実に努めてまい
ります。

(2) がん検診の精度管理

がん検診については「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」に実施
方法から事業評価まできめ細かく記載されており、精度管理については「自治体担当者
のためのがん検診精度管理マニュアル」の中にその手法が記載されています。当協会は、
検診機関として「事業評価のためのチェックリスト」に沿った自己点検を行うことはも
とより、要精検者の精密検査結果の把握、必要に応じた要精検者の追跡調査、がん患者
の追跡調査（5年間）など、各種精度管理事業を行い、それらの調査結果を実施主体な
ど関係機関にフィードバックするとともに、がん検診の症例検討会や従事者講習会、学
会発表等を通して県内の医師、放射線技師、保健師、臨床検査技師等に対して情報提供
するなど、県内のがん検診精度管理の維持向上を図ってまいります。

(3) 職域への精検受診率向上の取り組み

市町が実施する住民検診では、がん検診事業評価に用いる指標として、受診率、要精検率、精検受診率、陽性反応適中度、がん発見率などがあり、指針や精度管理マニュアルで管理体制が確立されていることから高い精検受診率が実現しています。一方、職域においては事業評価を行うシステムがないことから、精検未受診者への受診勧奨が大変困難な状況にあります。

がん検診の事業評価や精度管理は、職域においても非常に重要であることから、当協会としては、職域への精検受診率向上対策として、重要性や手法を提示し、受診勧奨してもらえよう強く働きかけてまいります。

(4) 学会発表等による情報発信・精度管理

関係する学会、研修会、発表等に職員を積極的に参加させるとともに、昨年引き続き、各部署に課題や研究テーマを与え、日常業務において気づいた点や健診・保健指導を通して得たデータ分析結果等について研究発表や研修会等を行うほか、接遇教育を実施し、職員の資質向上や各種検診の多様化・高度化に対応できるよう検診検査技量等の向上に邁進します。

精度管理の推進については、日常業務の点検や内部精度管理の徹底を行うとともに、外部精度管理にも積極的に参加し、健診検査技術の向上を一層図ってまいります。

公益事業2：新生児の先天性代謝異常症の早期発見に必要な各種検査事業

1. 先天性代謝異常検査（タンデムマス法を用いたマス・スクリーニング検査）

平成29年度は香川県をはじめ県下医療機関の協力のもと約8千件（香川県分）の受託検査を実施いたします。タンデムマス法により、19疾患のスクリーニングを実施し、偽陽性例や偽陰性例についても精度の高い検査結果を提供できるので、先天性代謝異常疾患の早期発見並びに早期治療に役立ちます。

以上